

第2回 施設整備部会 議事録

(1) 日 時：令和7年10月29日（水）午後7時より、（教育会館 第4研修室）

(2) 参加者：委員（8名）欠席2名、事務局7名

(3) 内 容

① 部会長あいさつ

② 協議報告事項

・ 工事の進捗状況について

勝山中学校校舎等周辺の工事関係

地下横断歩道工事関係

給食室棟関係

・ 備品精査について

③ その他

《部会長あいさつ》（省略）

《協議報告事項》

（工事の進捗状況について）

事務局 ・ではこの後の進行を部会長にお願いしたいと思う。

部会長 ・それではレジメにしたがって進めたいと思う。まず資料説明及び意見交換ということで工事の進捗状況について説明をお願いします。

事務局 ・工事の進捗状況を説明する前に、土壌汚染対策法の届出失念にかかることについて、改めてお詫びを申し上げたいと思う。既に、新聞報道等でもご存知のことかと思うが、6月の23日から30日間工事を一時中止していた。この期間、県の方から特段の追加の指示とかはなかったので30日間経過した後、7月24日からになるが、工事を再開させていただいた。皆様には大変ご心配をおかけして、改めてお詫びを申し上げたい。再開してからは後ほど、説明もさせていただくが、地下横断歩道工事の公園側、ジオアリーナ側のところ、それから給食室棟の発注を行なって、工程等を見直しながら、作業を進めているという状況になる。この後あの担当の方から進捗等について説明させていただくので、どうぞよろしくをお願いしたい。この後の説明は着座にてさせていただきたいと思うので、よろしくをお願いしたい。

事務局 ・それでは工事の進捗状況について①勝山中学校校舎等周辺の工事関係について説明する。資料1をご覧ください。こちらの方は、勝山中学校校舎等周辺のこれまでに発注した工事と、現在発注中の工事、これから発注する工事を示している。図面の上の方が北の方面で下の方が南、大野方面になる。少し色がちやちやしているが、新たな工事としては、真ん中の上ほどに紫色で④校舎に隣接する給食室棟の建設工事、こちらについては校舎工事を請け負っている株式会社熊谷組 JV と仮契約を結んで、9月議会にて認めていただき着手している。それと右側だが、黄緑色⑦とその左下青色の⑧だが、地下横断歩道建設工事、公園側現場打と書いてあるが、これは地下横断歩道の昇降口、登ったり降りたりする建設工事の長山公園側の工事で、こちらについては先般入札があって、株式会社タイセイ、大北久保建設株式会社 JV に決定している。そして福井県の工事だが、水色で示している図面の上の⑭高校校舎の特別教室棟のリノベーション工事、こちらの方は横田建設株式会

社と大北久保建設のJVで、来年11月の完成に向けて着手している。また、図面の下の方だが、⑮高校の寮ですが、木造の棟上げを行い、こちらの方も来年2月の完成と聞いている。一枚めくっていただき、今度は工程表になる。細かくて申し訳ないが、一番上段が地下横断歩道の工事の工程表、中段の方が校舎建設工事、下段が給食室棟の工事となっている。先ほど言ったが、下段の給食棟の工事は、工期の終わり、工期末が令和9年3月12日となっている。中ほどの、校舎工事と給食室棟工事は隣り合う密接な位置にある。そのため、建物が取り合う内外装や機器の一部が、校舎工事でも関係していて、校舎工事の工期末については、これまで令和9年の1月としていたが、先の10月の議会でも認めていただき、令和9年の3月12日、給食室棟と同じ工事まで延長をさせていただいている。この給食室棟の工事と合わせて、3月中に完成することで、外溝の工事でも雪の影響を避けて完成にしたいと考えている。そして一番上の地下横断歩道工事について、後ほど詳細を説明するが、令和9年3月中の完成を目指す。いずれの工事にしても、令和9年4月の開校に向けて、現在は関係施工者と連携して工程の再調整とか作業体制の確認、安全対策の徹底を図っており、品質と安全を損なうことなく、一日も早く完成に近づけるよう一生懸命対応していただいている。次は一枚めくっていただくと、勝山中学校建設現場の写真になる。全て4枚とも杭の工事だが、①②左側上側で国道側から杭の工事となっていて、③④は長山公園側の杭の工事となっている。校舎の工事では全長が20 m余りの杭がおおよそ109本、給食室棟では10本を施工していて、今も杭工事を施工している状況である。中学校の校舎関係の工事関係については以上になる。

- 部会長 ・今ほどの説明について質問や意見はどうか。
- 委員1 ・給食室の建設ということで、大まかなところでの自校給食という話は聞いているが、この前の市議会の広報を見た時に自校給食についての意見があったと思う。その中で管理栄養士が献立を立てて自校で作るのではなくて、外部に発注というか、一部外部で願います。ただ、管理栄養士がここにいるから、自校給食と変わらないという書き方をされていたような気がする。これは100%自校ではないということか。
- 事務局 ・給食は校舎に併設して給食調理をする部屋、給食棟と言っているが、それを建設する。その中で、副食から主食、炊飯までそこで調理していただく。その調理をする人を外部の業者に委託するというので、検討を進めている。そこを外部の業者に委託するという説明をさせていただいている。子ども達が食べるものを外で作って持ってくるということはない。そこで作る。
- 委員2 ・調理師を迎えて、ここでということか。分かった。
- 事務局 ・そういうことでご理解をお願いしたい。管理栄養士と言われたが、学校の方に県の職員として栄養教諭という立場の人がいて、その方に小学校もそうなのだが、献立を考えていただいている。そのメニューに従って作るということになる。
- 部会長 ・貴重な質問だと思う。他にも質問はあるか。無いようなら次に進めさせていただく。質問があれば、随時だしていただければと思う。では地下横断歩道工事について願います。
- 事務局 ・それでは②の地下横断歩道の工事関係について説明を申し上げる。資料2を

ご覧いただきたい。こちらの方は地下横断歩道の現在工事中の国道も含めた全体の平面図である。図面の左側が新中学校の校舎の建設場所で右側がジオアリーナのある長山公園となる。地下横断歩道は国道部分、公園部分、そして建築工事の大きく三つに分けて工事を実施している。図面の中ほどの青色の部分が、国道部分で現在工事を実施している場所である。その右側の赤色の部分が先ほど申し上げた、タイセー大北久保建設 JV と契約した昇降口工事になる。こちらの方は長山公園内の工事となる。なお、図面で緑色で示しているが、こちらについては、国道部分と今の公園部分の地下横断歩道工事の進捗を踏まえて、来年度にそれらの内装の部分とジオアリーナの昇降する場所の上屋工事を発注する予定である。次のページをご覧いただきたい。今回発注した昇降口、公園部分の図面となる。詳細な平面図と、右側に断面図を記載している。まず、左側の平面図の水色に塗りつぶしてある部分が、地下横断歩道の地下フロアの場所で、図面の下側の薄い緑色が地上フロア。そして、オレンジ色の部分が地下フロアと地上フロアを結ぶ階段部分になる。紫色の部分はエレベーターを設置する場所になる。今回はその周囲のグレーの部分为建设する。平面図に黒い色の破線で断面①から③までを記載しているが、その箇所の断面図の右側の①から③まで記載している。国道部分に設置している工事は2次製品のボックスカルバートを設置しているが、その内部の幅が6m、高さは3mとなっていて、公園の今回の部分も基本的に同じ寸法となるが、階段に向かう部分は少し曲がっていたりとかするので、エレベーターに向かう通路と、階段が並ぶので、その幅はもう少し大きくて、7.9mになる。高さは同じ3mの空間になる。公園部分は構造が少し複雑になっているので、2次製品として作られたコンクリートでは施工はできないので、現場で鉄筋を配置して、型枠を組んでコンクリートを流し込むという現場打ちの躯体を建設する。断面図③にある緑の部分は先ほど説明した。今後発注の上屋の部分がこのようになる。次にめくっていただくと、地下横断歩道の工程表スケジュールになる。上段が国道部分、中段の方が公園部分、下の方が建築工事となる。国道工程表で青色の部分に関して当初の契約では令和8年の3月13日を工期末としていたが、今回工事の一時中止に伴って、1ヶ月延期する必要があることも考えている。さらに今行なっている国道157号の道路管理者である奥越土木事務所と協議する中で、現在の交通規制を冬の期間も継続することは、除雪作業の支障になることや、事故の懸念があるということなので、土木事務所と冬の期間は工事を一時的に止めて、全面通行する予定で話をしている。その他にも、今後、勝高側の歩道付近で、北陸電力とか NTT とか、上下水道の管が埋設されていて、北陸電力の架空線が上に飛んでいる。それらの切り回しなどの対応で不測の日数を要することが懸念されている。来年発注予定の一番下段の上屋内装工事が新中学校の開校までに完了するためには、一番上の国道部分は、来年の9月末には終わる必要がある。10月から上屋が着手できるようにしないといけない。そのためには今ほどの国道部分を令和8年9月末までに工事を完了させることが必要であって、先ほど説明した不測の事態を含めて期限を少し伸ばさせていただく形になる。それが、クリティカルパスと書いてあるが、クリティカルパスというのは工事完了までの、全体の工程のうち、所要時間が最も長くなる一

連の作業工程ということで、ここが一番重要ということで、国道部分の工期は伸ばさせていただくが、開校に間に合うように他の関連工事とも協議して進めていきたいと考えている。次をめくっていただくと、今度は地下横断歩道建設工事の施工状況の写真になる。これは国道部分の工事の写真になる。上の①、②は2次製品のボックスカルバートの据付になる。前回準備委員会でも土留めの矢板といって土を止める矢板を落ち込んで、鉄骨で腹起こしとか言うが、そういったことで支持している。2次製品のボックスカルバートの幅は6m、高さは3mだが、こういった口の文字を上下のこの形に分けて据付している。そういった形でしっかりと結んで据付をしている。③でそういったボックスを埋め戻して、④右下で仮舗装して、復旧をしている現在の状況になる。現在は真ん中の中央分離帯の部分を2次施工と言って、施工している状況である。地下横断歩道については、説明は以上になる。

- 部会長
委員 3
- ・今の説明について質問や意見はあるか。
 - ・断面図とか設計図とかいろいろ見させていただいてこういう形になるのだろうかという想像はつくが、ジオアリーナ側の出入り口というのは自動ドアか何かがあるのか。この出入り口関係がどうなのかというのと、今日市内でクマが出て駆除されたというところもある中で、長山公園側の山から出てくるかとも思う。ジオアリーナは扉二重になっていてそんなに入ってこれないと思うが、ここは例えば一つの自動ドア、もしくは手動ドアであったとしても、ジオアリーナだと管理者がいるので、遠目で見ればクマがいるなど分かると思うが、人がいないときに生徒が出入りして、ここから外に出て体育館に入るのか、このまま体育館入れるのかが分からないが、一旦例えば外出て体育館に入るとなると、ここ近辺の子ども達の害獣からの対応がどうなのかというのが気になった。
- 部会長
事務局
- ・事務局の方からお願いします。
 - ・細かい詳細図のところの色付きのものをご覧いただきたい。実はこれには土木工事というか、その躯体を打つグレーの部分の工事のみと書いてあって実は緑色の下の至ジオアリーナのところだが、そのちょうど赤い矢印のところには建築工事で自動ドアが一枚つく。さらにもう一つ、風除室があって自動ドアがつく。二重の扉となっている。ここに入るのは今のところだが、カードキーで非接触というか、少し触ると自動ドアが感知できるような形になるので、例えばセンサーで誰か来て勝手に開くとか、人が乗ったから勝手に開くという仕組みではなくて、カードキー動かす動作を確認してから反応するようになるので、その辺は動物の侵入はないかな。校舎側も同じような仕組みで自動ドアで施錠しているので、その辺は問題はないかな。例えば登校時だとか、人が多く通る時は自動ドアも開放して、例えばそこに先生方が立っていただけるかどうかはわからないが、運用はしっかり安全に考慮して、中に入ってもらえるような形で検討はしている。
- 事務局
- ・施設としては申し上げた通りである。いろいろ考えると、例えば日中はいいが、夜中はどうなるのかとか、そういう部分は業者にお聞きすると、自動ドアをカードで開けるという仕組みに合わせて時間で何時から何時はかざしても開かないとか、そういうこともコントロールできるということなので、そういった仕組みを入れることを前提に、それを解除するのはタイマーで

	<p>きるのでそういう運用の面でももう少し詰めるところはあるので、検討していきたいと思う。今のところは、そういう形でクマに限らず外部の不審者が入らないというようなことは当然なので、前提に検討している。</p>
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・大学にも自動ドアがあるが、8時から10時までぐらいで管理している。土日には閉まっているが、行事やイベントがある時にはその日だけ開錠みたいなことも結構自由にきくみたいだ。他に質問はあるか。
委員 4	<ul style="list-style-type: none"> ・直接地下横断歩道の工事とは関係はないんだろうと思うが、車線規制についてお願いをしたい。何かというと、例えば病院側からトンネルに入っていく方はトンネルの中で2車線が1車線になっていくような感じだ。結構トンネルの中の車線変更がなかなか危ないものがある。信号からすぐ車線変更になるので、もう少し車線変更があるというような表示をたくさん分かりやすく出していただけることをお願いできないかと思う。逆も2車線から車線変更して曲がっていくが、地元の方は初めから車線変更しているが、いろいろな方、日曜日とか朝の急いでいる時とかすごく危ないなという思いがいくつかあったので、もう少しわかりやすいはっきりとした車線変更があるというものを出していただけると、危ないことが少なくなるかと感じた。もう一つ言うと、例えばジオアリーナからトンネルの方に右に曲がるところでどこに行ったらいいいのか、そこで迷っている人もいる。国道への入り口が分かりにくい。そういうところの表示をしっかりしていただけるといい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・長山交差点からトンネルの入る車線が狭くなるという表示の件だが、これまでに実は多くの声を聞いていて、言われる通り、市外の方が休日とかに車線変更があるのが分からなくて、突っ込んでいって、少し危ない状況がある。トンネル内での車線変更は基本的にはできないということで、トンネル手前でこれから車線が狭くなるという事前の表示は出しているのだが、それもあまり多すぎると、情報の把握が難しいというところで、その辺はしっかり話をさせてもらって、現在の設置になっている。ご意見があったということは担当に伝えて、改善できるところは改善したいと思う。ジオアリーナから、トンネル側に行く方向については、初めてご意見いただいたので、それについても対応できるところは確認させていただきたいと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にはどうか。では進めさせていただく。給食室棟の工事についてお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3の給食室の資料をご覧いただきたい。示している図面が、工事の発注図面で少し見にくくて大変申し訳ない。こちらは給食室の平面図である。安全安心でおいしい給食を、生徒の皆さんに届けるために、学校給食法、学校給食衛生管理基準に基づいた施設となっている。施設概要としては、ドライシステムといって、床面を水で流して清掃は行わないシステムとしている。また衛生区分を明確化している。上の方から小さくて申し訳ないが、配膳室、水色の細かい四角い長細いのが配膳車になるが、その下は洗浄室、図面の真ん中は調理室になる。また食物アレルギーに対応した専用調理室を設置した調理環境を整えている。さらにその下の方には、研修室、食品庫、下処理室というような配置になっている。建物の方は鉄骨の平屋建てで、面積が約288平方メートルの大きさになる。説明は以上。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・図面だけなので少し分かりにくいかもしれないが、何か質問や意見はあるか。

委員 5	・調理室の窓とかはどこにあるのか。北側にあるのか。
事務局	・ほとんど窓はなく、換気の方はしっかり機械換気をしている。上の右側の方から扉があり、前室があるし、下の右側の方にも、除染室があつて、3か所程度の入り口と後は校舎につながる部分が開口部となっている。ほとんどが、外壁という形になっている。後は照明でしっかりと照度を確保しながら、給食調理に支障がないような設計となっている。
委員 6	・これはやってほしいということではなくて、保育施設だと食育の関連で、調理師さんの顔が見えるように窓を開けたそうだが、あまり生徒さんとも関わりもないかと思う。
事務局	・真ん中の線から左側の校舎とひつついているところに、一応そこはガラスで見えるような形になっていて、機器があるのでその辺は考えないといけないが、校舎棟から給食室の内部が見えるような仕組みは一部取らせていただいている。
委員 7	・緑の棒が書いてあるところか。
事務局	・緑の少し右上は多分ガラスで仕切られていて、中が少し見えるような形があるので、その辺から給食室の内部が見えるようにはなっていると思う。
部会長	・他には質問はないか。
委員 8	・調理師さんの行き来で出入り口はどの辺になるのか。
事務局	・ちょうど、右の方に扉が二つあるが、一番上は、星印が書いてある扉の方になるが、パンとか牛乳の搬入ルート、その下が、調理員が出入りしてすぐに事務更衣室、さらにトイレとかも介して、衛生準備室というようにだんだん下に流れてくような形になっている。一番右下の方は食材が搬入できるというルートの扉というふうな形で区域部分もしっかり分けられるようになっている。本当に発注図面で見にくくて申し訳ないが、そういうふうにしっかり区分けはされている。
委員 9	・右下の方に衛生準備室とか細かい洗浄室とかいろいろあるが、エアシャワーとかはないのか。
事務局	・エアーシャワー的なものはなく、衛生準備室でクリーンロッカー、白衣があつて、そこで着替えて研修室の方から入ってもらうとか、調理室の方に入ってもらおうという形になっている。
委員 10	・一番懸念するのが、先ほど伺ったように、調理師さんを派遣してもらって、ここで調理する。派遣さんというのは、しっかり調理していただける方だと思うが、県外だとかいろいろなところで、給食に毒物薬物混入させたりとか、同じ日本でも少し違う考えを持ってる方もいる中で、こういうところに入れやすいではないか。そういう人なのかどうかというのも、見分けがつかないと思うが、そういったものを持ち込まないというところで、各自が各々荷物を置いて、洗浄室に行って手を洗うとかではなくて、着替えた後に最低限の格好でエアシャワーに通って、疑われるようなものは持ち込んでいないというような作りをする方が気持ち的に安心安全は大丈夫ですと力強く言えるのではないかと思った。今までのどこの給食室を見てもこれ以上の衛生面はない。ないのが主流だと思うが、贅沢を言うとそういうのもあったらいいかなと思う。
事務局	・先ほど申し上げた、学校給食法とか、学校給食の衛生管理基準に基づいた施

設内容にもなっている。運用の方はしっかりとその辺は説明して、調理に当たってもらうことは、事前にさせていただくので、その辺も踏まえてしっかりと対応していきたいと思う。

(備品精査について)

部会長 ・では、備品精査について事務局から説明をお願いします。

事務局 ・資料4について説明させていただく。ここには写真とか図関係はあまりなく、現在の進捗状況になるが、案としてこんな考えで進んでいるという理解でお願いしたい。三つあるが、一つは新中学校の校舎。ここは全部新しく建てるが、そこに一体どんな備品を入れるか、新調備品と書いてあるが、これは新しく購入したいなと考えているものである。生徒の机椅子を約450人、1年生から3年生までいる。今度はタブレットを載せたりA版の教科書を置くので、大きな天板仕様ということになり、生徒の机椅子を新調したい。それから職員室の先生方の事務机と椅子を41人分と書いてある。これはアバウトの数だが、新調できればいいと考えている。それから1階と3階、春、皆様には図をお分けしたが、学びの丘という学習できるようなスペースがある。そのところは、この新中学校の特色でもあるところ、それから多目的室という、160人ぐらい入る大きな部屋がある。それから、特化した部屋としてイングリッシュルームとか他教科室。こういう特別な部屋の机、椅子棚、家具等も新調したい。それから図書室、これが大変大きな勝山高校と一緒に利用するところだが、造り付けの家具もちろんあるが、その中のテーブル椅子等も新調したい。とても広いので持ってこれるものもあるが、移設も含めて新調して、新中学校の大きなものとしたいというのが一番になる。その他の部屋は、ここには校長室とか特別支援室、相談室、保健室とかいろいろあるが、この部屋についてはできるだけ今3中学校にあるものを移設できればと考えている、それに伴う経費について、新しく買う備品費。消耗品費は備品ほどこの大きな金額ではないが、例えば掃除用具、今度は掃除形態も水を使わないような形になってくる。また時計が一つもない。そういったものとかの消耗品費。それから当然運搬費が含まれている。これを、令和8年度当初予算で要求させていただいて、9年度には間に合うようにと考えている。2番目給食室についても、新しく備品を買う。調理器具、衛生管理品、そういったものは新調しないといけない。それから中学校なので、使っていた配膳にかかる運搬車、食缶、机、椅子、ロッカー等持ってこれるものは持ってくる。これも同じように経費について、先ほどの調理業務委託。つまり、人に関するもの、それから備品、消耗品、運搬費も同じように要求していきたい。もう一つ特別教室棟というのが勝高との間に建っている。そこは今、県の事業でリノベーション工事をしていただいている。そこに入れるものについては、中高共用の部屋がある。家庭科関係、美術、音楽関係だが、これは県で予算をつけていただいているので、県と備品の調整等をしている最中である。また中学校独自で中学校しか使わない部屋がある。理科室、ここの実験台とか戸棚というのは県で予算をつけていただいている。だから中学校専用の部分であっても県が予算を持ってくださっている。また全部ではないが、移設備品もある。例えば被服室の机、美術室の机や乾燥棚、音楽室の楽器、理科の実験器具。これらは中学校から持っていく。それから技術室は中

学校しか使わないが、これは全て中学校3中から運搬する。作業机、椅子、備品等、全て中学校から運搬する計画でいる。経費は同じように運搬費が中学校から持っていく分についてはかかる。ここにはピアノも入る。勝高のピアノもあるが、中学校から持っていくピアノの運搬費もかかる。技術室に関しては、大型機械があるので、それを取り外して運搬して取り付けるという作業が別途ある。これらのものを含めて、当初予算で要求していくということで、特別教室棟は一部専用工事的なものがつく。その他の備品だが、まだここがまだきちんと進んでいない。体育関係の備品は、中学校の体育と高校の体育の内容が違うので、勝山高校とも相談して、どこにどんなものを置くことができるのかを考えながら移動したいと考えている。それから別途図書の本だが、これは勝高でも進めているが、現在中学校にある蔵書は多い。それを半分を目途にこの夏休みに選定していただいた。これの確認作業とか、重なっている部分とかもあるので、そういったところを市立図書館、それから勝山高校さんとも連携をしながら作業を進めていくことになっている。まだ他にも、PTA からいただいたもの、寄贈されたもの、卒業記念品その他いろいろある。それは、関係の専門の方と相談しながら、これは持っていこうという相談をしていきたいと思う。歴史的なものは本当によくわからないが、とりあえずまだ持っていかにそこにあると思うので、専門の方と相談して進める。最後に部活動の備品は、地域移行、今は地域展開となっているが、それも注視しながら、勝高のこともあるので3中の部活動も含めながら考えていきたい。次に2ページ目になる。スケジュールのことで、まだ詰め切ってはいないが、今考えているものをここに書いた。下に帯で書いてあるが、夏休みの備品の選定①はもう済んだ。先生方が休みとなると、冬休み、春休み、夏休みしかない。まず今度の冬休みに選んでいただいた新中学校に持っていく部品にラベルか何か印をつけないといけないということを考えている。どれを持っていくのかということをはっきりさせたい。新中学校に校舎に持っていくものそして特別教室棟に持っていくもので、ラベリング作業が必要かと思っている。2番目は春休みになる。年度変わりになるが、あくまでも移動できるものを中部中に集めようということになっている。図書の本もどれだけ持っていけるか分からないし、とりあえず持って行っても8年度の教育課程に支障のないものを持っていきたい。8年度になって夏休みから始まるが、実は特別教室棟への備品を先にしないといけない。例えば技術は移設して設置するまでに時間がかかる。ピアノの移動も出来上がってからは入れられないと困るので、県と相談しながら、ピアノをいつ入れるのか、技術室の工事をいつするのかということを詰めていく。特別棟が出来上がるまでにしないといけない。それが三番になる。そこで2学期後、まだ校舎が建っていないので、使わない備品も中部中に動かすことになる。4番今度は冬休みを中心に特別教室棟への移設作業、つまりここに書いてある部屋の備品を動かす。これはなぜかということ勝高の特別教室棟は先ほど言ったように2学期中にできてしまう。ということは3学期は使えることになる。勝高で工事にために止められていた生徒が何もせずにでは困るので、できる分は3学期に授業をするという形で、使えるものはこの冬休みを中心に移動するという形になっている。そして令和8年度の3月、最後になる。これは全

て動かさなくてはならない。先ほども工期の話があったが3月12日で、ここら辺りがタイトになってくるが、少し時間を取って持っていかないと、なかなか一日でというのは無理なので、順に段取りを組みながら、春休み中に少しかかるが、持っていきたいというのが、5番目のことになる。あとは留意事項として、建設関係とか県とか勝高と連絡調整をしながら進めていかないとはいけない。特に令和9年3月、開校前の3月は日程が過密になっているために早めの調整をして計画する。例えば修学旅行、竣工式、卒業式、修了式、退任式、閉校式、さらに物品移動がつくので、この辺りの日程をきちっと決めないと大変なことになってくる。最後に余剰備品等の扱いについて、余った備品などはどうするのかという話だが、これはとても8年度中にはできないので、9年の4月以降にどういう形でやっていくといいかを考えていきたい。少し落ち着いてからではないとできないかなと思っている。説明は以上になる。

- | | |
|------|---|
| 部会長 | ・以上の備品関係について質問や意見はどうか。 |
| 委員 1 | ・繰り返しになるが中部に集めるものというのはどれぐらいのものになるのか、図書以外で。 |
| 事務局 | ・中部のキャパもある。中部は寄宿舍があるので少しスペースはあるかなと思うが難しい部分もある。1回目としては特別教室棟関係のものが集められるといいなと思っている。図書の本も含めて、技術室みたいにそんなに早く持っていけないというものもある。例えば家庭科室の机をそんなところへ持っていくのかという話もあるので、そういう大きなものについては、やはり直接そっちから運搬した方がいい。だから、ある程度ダンボール箱に入るような関係のものを大体中部に集めて、少しでも運搬費を何とかと思っているが、ものによっては直接持っていく方が早い。例えば校長室の金庫などは中部に持っていくことはできない。 |
| 委員 2 | ・段ボール箱をかなり置くところを確保しておくということか。 |
| 事務局 | ・空いたスペースしかないが。 |
| 委員 3 | ・寄宿舍も考えているのか。寄宿舍を整頓しておかないといけない。 |
| 事務局 | ・できるだけになる。置くスペースがなかなかない。図書の本だけでも本当に多い。図書の本は領域別に揃えなくてはならないので結構な量になるし、重い。まだここら辺は詰め切っていない。ざっとした日程だけなのでまたご相談をお願いしたい。 |
| 委員 4 | ・この中部へ集める時の運搬は、例えばトラックだとか、そういったものを市教委の方で予算化して運んでいただけるのか。教員が運ぶのではなくて。もう一つは、やはり中部に集めた方が安く済むのか。 |
| 事務局 | ・そういうふうに考えているが、業者の一応運搬費も見込んではあるが、やはり1か所に集まっていた方がいいし、中部が一番近いということで。例えば北部から中部へ運ぶ、それは先生方に運んでほしいとはとてもお願いはできない。ただ備品のこれを持っていってほしいという手伝いはお願いする形にはなると思う。 |
| 委員 5 | ・使わないもの、支障がないものを持っていくというところに少し引っかかりがあって、1学期が終わって1学期で使ったものを2学期に移動するのは分かるが、春に使わないものは多分来年も使わないのではないかなと思うので、 |

	<p>ここの部分はあまりないのではないかと思います。中部のものを直接持っていく中部にあるものを使うから近いから持っていくというのは聞いていてその通りだと思うが、南部や北部から一旦中部に集めて移動することに、どこまでメリットがあるかを考えたいと思った。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・技術や家庭科は3学期に何かをしようと思っても、備品が行ってしまうわけで、こういう計画を早めにしないといけない。単元の入れ替えや教材の準備等もあるので、この単元はもうすんでいるから持っていく部分は運ぶというそんな感じになる。理科も3学期のぎりぎりまで、授業というと全部残しておかないといけないので、単元の組み替え等はいろいろ考えていただかないといけないかもしれない。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールは決まったサイズになっているのか。それは市教委から支給されるという感じか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールは業者が持ってくることになっている。ただ、業者は運ぶことだけで、詰めるのは責任が持ちかねるという部分があって、なかなかその詰め込み作業までとなると別途費用が必要になったりする。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・多分いろいろシミュレーションして、業者とも打合せての結果だと思うが、単純に北部から中部に行くのも業者、中部から新中学校に行くのも業者であれば北部から新中学校に行くのも業者で、距離的にはわずかではないか。それは違うものなのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのあたりも実際は見てもみないと分からない。確かに学校に持っていくものについては点在している。この分は少ないなと思ったら、一つに固めた方がいい、イメージ的には教科ごとになる。例えば家庭科のもので、北部に少しだけあって、大体が南部にあるとなれば南部に持っていくとか。だから中部に大体技術関係のものがあれば、残りの運べるものは中部に持ってきておこうとか、そういうことになると思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に聞いているだけ大変だと思う。今の時点で現場の先生から何か質問を聞いているのか。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり先生方が思っているのは、3月の過密日程になる。本当に3月が過ごせるのか。それだけのことがやれるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りで日を決定して入れていかななくてはいけない。できるだけ皆さんと相談しながら、この下を書いてあるのは入れていかないといけないのでお願いしたい。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・勝高の特別教室棟に対して意見等はないか。
委員 9	<ul style="list-style-type: none"> ・高校としては早く出来上がって、3学期は新しい家庭科室で調理実習をすることを考えている。調理実習はいつも先にするのだが、単元を全部やってしまっ、特別教室棟が出来あがってから新しいところで新1年生がすることになっている。勝高としては、リノベーションは2学期末ぐらいで終わるので、高校の部分として音楽室の備品とか、美術室の備品とかは移動できるので、余裕がある。中学校側はそれが一気に持ってくるので大変だなと思っている。だから高校側は一応出来上がってはいるので、ただ持っていけるかというと、多分それぞれ中学校が全部持ってきていいわけではないとなると、こういうスケジュールなのかという感じではある。高校側は一応スケジュール感を持ってやっている。

部会長	・日を決めていかないと、こういう議論もできないと思う。ピアノは中学校のものを全て持っていくのか。
事務局	・中学校のものを2台だけ持っていく。勝高のピアノが1台あって、全部で3台が学校には揃うという形になる。中学校には音楽室にも体育館にもあるので、全部で6台のうち、2台持っていくという感じになる。学校によっては2台ではなくて3台あるところもある。卒業式もあるので、音楽室にあるものを持っていく。
部会長	・他に質問等いかがか。
委員 10	・図書館がメディアセンターとして一緒になるので、中学校の校舎が建たないと、今の仮の図書館から本を移動するのも少しタイトである。なぜかというところ、その部屋が今度は書道室に変わる。だから、新学期からの芸術の授業をするために、書道室に復帰しないといけないとなると、その図書館の本を新しくできるメディアセンターに置かないといけないので、3月12日にできるという形だが、その引っ越しが間に合うのかと司書と話をしていたりしている。玄関も新しくしていただけるので、新しい玄関とメディアセンターを少し待っている。本が結構あるので、中学校との兼ね合いで想定するという形になる。司書と市教委と勝山市立図書館の人と話をして計画的にやっていきたいと思う。
部会長	・本を移動するのは例えば学生でもできる。そういうワークショップを開催してもいいのかなと思う。
委員 11	・分類もあるので、その辺も想定して移動しないといけないし、箱詰めもしっかりしておくということでそこら辺は計画的にしないといけない。バーコードの登録もそうだし、今仮の図書館に動かす時も結構考えて箱詰めして持っていくことをしたので、その辺は調整しながらになるかと思う。
部会長	・専門的になる。他に質問はどうか。
委員 12	・小学校の先生はこういうことが分かっていないので、何かあるごとに今中学校はこんな感じだということは少し話をさせてもらうが、先生方は来年、中学校に行くかもしれないみたいな形で言っても、自分事としては捉えられない。すごくタイトだなと思いながら聞いていた。
事務局	・工程の見直し等で工事も3月12日とさせていただいた。安全性と品質の最優先ということもあるが、引っ越し作業は、なるべく使用可能になった箇所から順次進められるようにという思いはあるので、その辺は調整して、円滑に進むようにまた業者とも話しながら進めていきたいと思うので、よろしくお願いしたい。
部会長	・他には大丈夫か。その他の件もあるが基本的に工事の進捗や備品など事務局の提案でよろしいか。スケジュールについては、これで決定ではなく、できるだけ進める。
事務局	・タイトなのは本当にそうなので、一応こちらの方で、こういう日程でこういう順番でということは、できるだけ早く決めて、校長先生方にもお示しして、無理がないとか調整するとかはしていきたいと思う。今ちょうど当初予算案の要求時期で、先ほどの新調するものと持っていくものというのは、今の我々の要求の思いでこの資料を作っているの、この通り査定されるかどうかかわからないところはある。ひよっとすると、持っていくものがもっと増え

て、新調があまり認められずというようなことも起こり得る。その辺がある程度全体像が固まってきたら、具体的にどういう日程でやろうかというような段取りになる。今すぐにはお示しできないと思うが、我々も準備の都合上、もう作っていかなくてははいけないので、それはキャッチボールしながら、見ていただきながらということで、進めさせていただくので、そういうことで理解いただければありがたいと思う。

(その他)

部会長 ・では、その他に移りたい。事務局、何かあればお願いしたい。

事務局 ・前回、指摘があったので、資料を用意させていただいた。参考資料になる。勝高の野球部の長山公園についてになる。グラウンド図があると思うが、この部分でざっくりと言うと、枠の中が白い部分が1番のブルペンから6番の照明設置までであると思うが、これがだいたい6年度中にさせていただいたことになる。次に黄色の部分が、7番から13番まで、これが今年度させていただいたものになる。緑色の14番、15番は8年度で今予算で要求している部分になる。なかなか時間もかかって、ご迷惑をおかけしているところもあるかと思うが、その番号に合うところの写真が2枚目になっている。最初にやり始めたのはこのブルペンの移設で、次に倉庫、そしてスピーカーを修繕して使えるように直していただいた。グラウンド整備のこのレイキを買っていただいた。5番はここからも水が取れるように増設させていただいた。6番は照明が切れている箇所があったので修繕した。7番はグラウンドへ上がるまでの道がとても暗くて危険だということで7基つけていただいた。それから、本当は天井ネットがつけられるといいのだが、こういうバッティングゲージを移設して、打撃練習の一助にということで移設した。次はグラウンドの土が10tのうち、4tだけまいているが、これを補充させていただいた。そして外野のセンター部分になるが、ここが穴が開いていてボールが転がっていくということだったので、外野フェンスを設置させていただいた。それから11番はマウンドの後ろに散水栓を野球部の生徒たちが見つけたので、水が出るように修繕をした。また、今もクマの情報があるが、散歩の人も危険なので、注意看板を設置した。それから13番はやはりブルペンが暗くなるということだったので、今とりあえずある投光器をつけさせていただいた。14番、15番は顧問の先生方と話をお聞きして、今500ℓタンク2個、サード側と1塁側にそのタンクを設置して、小型ポンプで散水できるようにと要求している。トンボも必要だということだったので、これも要求している。それから、このブルペンの周辺をもっと整地して、さらに練習場所として綺麗にしたいということがあったので、原材料支給費要求、現物支給のお金があるそうなので、今要求させていただいている。あとロストボール対策としてバクネット裏の草刈りをしないといけないのだが、実は父母の会が自主的に刈っていいかと建設課に電話があって、刈っていただいて、ロストボールが実際出てきた。やはり草刈りは大事だということになる。前回AEDの指摘があったが、ジオアリーナと勝高においてあるが、電話ですぐに持ってきていただけるように顧問の先生とは話をしている。ジオアリーナとしてあるのは特に土日になる。天井ネット本当は要望があるが、共有のために設置することができない。これは監督にも説明をして、監督も難しいという話

	はされている。このように今進んでいる。
部会長	・説明についていかがか。
委員 1	・いろいろ検討していただいてありがとうございます。天井ネットができないということだが、なぜ必要かという繰り返しの話になるが、練習試合ができない。そもそもグラウンドを持っていて、練習試合ができないということ自体が部活動としては成り立っていないということで、部活に支障が出ているし、十分な活動ができない。それから、練習試合ができなければ、練習試合は全て他の高校に行ってしまうことになる。当然バスを使っていくので、そのバス代がかかるということで、バス代自体はいわゆる保護者会から出している。野球部の保護者に金銭的負担がかかっている。今年度については、PTAとしても負担がかかるのであればということで、一部の補助を検討しているところ。練習試合ができないことによって、野球部の保護者と PTA に金銭的負担をかけているということで、それも踏まえて必要だということで、要望しているところだ。要望というよりつけてもらわないと困るという話だ。再検討をお願いしたいが、そもそもできない理由というのが何でも設置すると他の団体が困るだろうとそういった意味合いでよろしいか。
事務局	・同じように大会とかになる。
委員 2	・大会の時に天井ネットがついていて困るだろうという話だと思うが、常設ではないパターンもある。例えば開閉式だと、使う時だけ天井ネットで、使わない時は開けておく。そういったものもある。先生に聞いたのだが、例えば高志高とか羽水高とか、そういったものを採用しているところもある。雪の時でも取り外せるようになっていたりする。開閉式のものであったり、違うもの。天井ネットが欲しいというよりも、練習試合をする時に打球がどこでも飛ばないようにしてほしいという意味合いのもの。今の開閉式であったり、もしかしたら移動できるものがあるかもしれないが、使ったら片付けるとか、あるのかどうかは知らない。そういったものを設置すれば、ここで言っている他団体の大会とか、他団体が使用するとき邪魔にならないと考えられるので、そういったことについて検討をお願いしたい。検討をお願いしたいというよりも勝山高校と話をしてほしい、相談をしてほしい。私らもそんなに野球のことを何でも知っているわけではない。できる方法を考えてほしい。制限があるのは分かっている。その制限のある中でできる方法を考えてほしい。これも勝山高校野球部なり勝山高校なり当事者と一緒になって話をしてほしい。そういう考えだと設置できるのではないか。今の開閉式とか、どうか。
事務局	・今年度になって、監督の先生も変わられて、二人の担当の先生がおられるが、我々が行って話をさせていただいた。それでこの緑のところを次に何とかできることを少しずつでもやっていくということになった。
委員 3	・天井ネットはしなくてもいいとは言っていない。
事務局	・しなくてもいいではなくて、難しいなということを言っておられた。
委員 4	・気を使っているだけで、別に勝山高校野球部がつけるのが難しいと言っているわけではない。顧問の先生も結局いろいろ難しいのかという話をさせてもらっただけで、それなら先にマウンドの整備をしてほしいと言っているだけで、別に難しいからやらなくていいと言っているわけではないということ

	ちゃんと昨日確認している。やってほしいのはやってほしい。とにかくやってほしい。いかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットの件はずっと継続的に要望をいただいているので、我々も、難しいのは難しいが、諦めてくれと思っているわけではなくて、今、開閉式というものが、高志、羽水にあるという話も出てきたので、早速見に行って、そこに導入できるものなのかどうか、そういう検討はさせていただきたいと思う。やはり他団体との関係ということがネックというと失礼だが、あるのでそこが解決できるようだったら、予算として要求するとか、そういったことが進められると思う。ただ、やはり検討には少し時間をいただきたい。それから実際、現物を見てきた後に、今言われたように、監督の先生とかにも報告して、一緒に考えたりということで、今後の進め方についても併せて相談をさせていただきたい。
委員 5	<ul style="list-style-type: none"> ・たぶんバックネットがものすごく後ろにあるので、おそらく高志高とか羽水高とかに行かれても参考にならないかもしれないが、できる方法は必ずあると思う。考える、やる気を持って絶対解決するんだという、そういう気概を持って、やっていただきたい。できない理由を並べないでほしい。できる方法を考えてほしい。それも勝山高校と一緒に考えてほしい。困っているのは子どもらと保護者と、PTAはそんなに困っていないかもしれないが、子どものためにやってほしい。勝山市の子どものために本気で考えてほしい。できる方法をというのが一点。本当に今年度に何回勝高の先生と相談されたか分からないが、もっと密に話をしていってほしい。できれば保護者も入れてほしいが、それはお任せする。とにかく何回も行っていってほしい、解決するまで、お互いに納得するまでお願いしたい。続いて私らというか私がずっと言ってきたのが、天井ネットの設置と、散水栓の設置と、一般利用者に対する安全対策というものも強く意見してきたと思う。散水栓についてはついているもの、マウンドの裏も数量が少な過ぎてほぼ使えない。知っていると思うが、使いものにならないということを聞いている。ただ、その中でタンクでできないかということ、勝山市の方に先生の方からこういうのはできないかと言ったと昨日聞いて、それが予算要求の中に入っているの、来年度できるのであれば、散水栓の話はこれで解決したのかなと思う。最後、一番大事になると思うが、一般利用者に対する安全対策、この中で見ると、注意看板を3枚つけたというだけなのだが、これでもう対策は終わりだと考えているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そうではないが、これはあくまでも散歩される方への注意喚起、それからスピーカーを直したので、最初誰かが行くまでは鳴っていないが、すぐに音、しゃべるだけではなくて、そういう音もかけられるので、それを早めにかけていただいて、クマ対策とかアナウンスをしてもらってもいいし、安全対策をしていただければということで、スピーカー修繕時にお願いはした。
委員 6	<ul style="list-style-type: none"> ・練習されているところへ一度でも見に行ったのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1回か2回か見に行った。
委員 7	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな感じだったか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな感じというのは。
委員 8	<ul style="list-style-type: none"> ・人が入ってくる。おじいさんとか。

事務局	・自分がいた時はいなかったが。
委員 9	・何回も見に行かれるといい。ベンチの前まで散歩に来る。
事務局	・それは言ってもらうしかないが。
委員 10	・安全対策としては、もうこれ以上することはないという考えなのか。
事務局	・ここは公園なので、入ってくるなどとは言えない。だから、注意喚起の看板になるが、そういう方が特定されているのであれば、言って話をするとはできると思う。もし特定の人ならば。
委員 11	・事故が起こってからでは遅いので、何かもっと本腰を入れて、硬式野球をさせるということであれば、それに特化したちゃんと一般利用者に対する安全対策というのを、真剣に検討してもらわないと怪我させるのは部員なので。あまり乗り気ではなさそうな顔をしている。
事務局	・できることはする。先ほど言ったように特定されているなら、その方に注意するということしか今は思わないが。
委員 12	・その辺も勝山高校とよく話をして、安全対策とかも話をしていっていただきたい。細かい話になるが、ブルペンの投光器をつけていただいて、ありがとうございます。ただ、正直あまり役に立っていない。何かすごく暑いという話なので、改善できるものなら、改善をしていただきたい。つけていただいてなんなのだが。天井ネットと安全対策について、特にソフトボールと一緒にやっているという金曜日、それが一番怖い。ソフトボールの方と時間をずらせていただくとか、場所を変えていただくとか。
事務局	・ソフトボールの方とは一緒に話をさせていただいている。監督さんとソフトボールの監督さんというふうにやっていきましょうという了解を取った上でやっているのだが。
委員 13	・ソフトはいるのはいる。いないに越したことはないので、危ないので。
委員 14	・時間がずれているのではないかな。
委員 15	・時間はずれているが、早く来るらしい。
委員 16	・監督同士の話はしているので、その辺は調整していると思う。
事務局	・練習メニュー等も工夫していただいているということになっている。
委員 17	・天井ネットと安全対策、勝高野球部が一般開放されている公園の中で練習をするということで、どういったことで困っているのか、学校みたいに閉鎖されたところでやっているわけではないので、それを全部仕方がないというのではなくて、しっかり安全対策など、野球部とどういったことで困っているかをしっかり話をしてお互い納得いくようにしていただきたい。
事務局	・野球部の先生方とも話しながら、現場を見ながらまた相談したいと思う。
委員 18	・特に天井ネットはできる方法をしっかり考えてほしい。
部会長	・今のことで意見や質問はあるか。保育の方でも物的な環境を揃えるだけではなくて質的な環境もそろえて一つだという言い方をしている。そういった安全対策というところで言うと、注意看板もそうだし、住民の皆さんからの一言もやっていこうとか、その他にも例えば公園に行き交う人同士で注意喚起してくださいとか、そういった話もあるのではないかなと思う。野球部が移って1年、2年ぐらい経っているのだから、それなりに多分周知もされてきたと思うので、そういう高齢者の団体とかにも長山公園を使うときには、注意していきましょうという呼びかけというところも大事なかなと思うので、ぜひ

	皆さんご協力をお願いします。
委員 19	・ 言い忘れた。看板だが、昨日聞いたら、一枚剥がれているとか言っていたので、こういう簡易なものではなくて、看板屋に頼んだり、2、3年持つような看板にしていただけるといいのではないかな。
事務局	・ また検討する。
部会長	・ そろそろ修了の時間になったがよろしいか。いろいろと意見をいただきありがとうございました。事務局にお返しする。
事務局	・ 本日いただいた意見は精査をして、準備委員会に報告させていただきたいと思う。以上で、第2回施設整備部会を終了する。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。次回は備品精査の状況だとか工事の進捗状況を見合わせて、部会の開催を考えたいと思う。日程調整を含めて改めて案内するので、よろしくお願いしたい。ありがとうございました。

資料 1．勝山中学校校舎等周辺の工事発注状況

資料 2．地下横断歩道建設工事

資料 3．給食室棟工事

資料 4．備品精査について（案）